



日本最大級の異業種交流会



「若鯨会」を知る in Nagoya

若鯨会情報誌2021 No.193
W.PRESS

相談できる! 新商品のヒントがある!
経営について学べる!
ビジネスチャンスが満載!
会員数約500名
日本最大級の異業種交流会

令和3年度代表幹事 柴田真吾氏インタビュー

今回は、若鯨会代表幹事 柴田真吾氏に本年度の年間テーマ「SHINKA」や若鯨会への想いについて伺いました。

Q

若鯨会に入会して変わったことは?

ある委員会に出向した際に、書類の準備はもちろんのこと、想定問答にいたるまでしっかりと事前に準備する会員に出会いました。その姿勢を見てとても感銘を受け、それ以降私もしっかりと事前準備をするようになりました。多くの会員との出会いがあり、自分自身の成長につながれることが若鯨会の大きな魅力だと思います。



Q

年間テーマ「SHINKA」への想いは?

私は「SHINKA」という言葉が大好きです。「SHINKA」には、進化、真価、深化、親化といういくつかの意味があります。

コロナ禍の今だからこそ、「SHINKA」へ力強く踏み出す姿は、大切な人に大きな勇気を与えるはずです。その勇気が折り重なって、希望の光となり、世の中を新時代へと導いていくのが若鯨会です。共に切磋琢磨し、共に助け合い、共に分かり合える仲間を、若鯨会はお待ちしています。

Q

代表幹事としての意気込みは?

代表幹事の役割は、「皆さまに任せること」だと思っています。その上で、自分は何ができるのかということ意識しています。副代表幹事・各委員長には、記憶と記録に残るようなことをしていただきたい。そして、会員の皆さまには気持ちよく、若鯨会活動をして欲しいと思います。つまり、「自分の仲間を信じて任せる」というのが私の信念です。



柴田 真吾
Shibusata Shingo

昭和49年名古屋生まれ。
平成14年有限会社和功を設立、
代表取締役就任。
若鯨会には、平成23年入会。
令和3年度第39代若鯨会代表幹事に就任。

「若鯨会」とは?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。今年で39年目を迎える若鯨会は創立以来、自主運営で事業活動を行っており会員の相互啓発と企業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に、業種の壁を越えて活動しております。14のグループ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

新入会員募集中

お問い合わせ・お申込み先

名商中小企業部内 若鯨会事務局まで

Tel.052-223-5634

WEB <http://www.wakashachi.net/>

資料請求
はコチラ

